

2005年1月13日

「多元的社会における先住民運動：カナダのイヌイトと日本のアイヌ」

松園万亀雄

新年あけましておめでとうございます。

本日より3日間、国際シンポジウム「多元的社会における先住民運動：カナダのイヌイトと日本のアイヌ」を開催します。

日本の文化人類学者はとくに1960年代以降、世界各地において地道な現地調査を実施し、社会や文化に関する一次的なデータを蓄積して、基礎的な研究を推進し、多くの成果を挙げてきました。

その一方で、グローバル化とグローバル化が同時に進行し、従来の研究方法や視点ではカバーできない問題が出現してきました。こうした全地球的な大変化の時代においては、既存の人文社会科学を再編成し、同時に新たな研究分野を創出することが要請されているのだと理解できます。また、いままでにもまして、人類学の研究成果を社会に還元し、問題解決のための応用的・実践的な研究を進めることも社会的に要請されております。

このような状況のもと、2004年4月より、国立民族学博物館では、館全体の機関研究として、「社会と文化の多元性」、「人類学的歴史認識」、「文化人類学の社会的活用」、「新しい人類科学の創造」という4つの研究領域を設定し、さまざまな研究プロジェクトを推進してまいりました。

本日から開催されるシンポジウムは、研究領域「社会と文化の多元性」の成果のひとつとなるものです。この研究領域のおもな課題は、差異を内包した社会が、いかに自らを生産していくのか、そこでどのような未経験の事態が生じ、どのような問題が生じるかを、明らかにする糸口をつかむことでもあります。

世界各地の先住民族の文化や社会は長い間、文化人類学の中心的な研究テーマでありました。1970年代以降、世界各地で、言語の権利や狩猟・生業権、自治権など、先住民族による諸権利の実現のための運動が盛んになってきました。

カナダ、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドの先住民族は所属している国家の政府と交渉を重ね、さまざまな権利を獲得してきました。一方、日本のアイヌ民族のように、国家から同化を強要され、先住民族としての諸権利を認知されないばかりか、抹消されてきたような事例も存在しています。

このシンポジウムでは、先住民族による現在の政治活動や文化活動について、カナダのイヌイトの事例と日本のアイヌの事例を比較することを目的としています。グローバル化が進み、国家や地域社会が複数の民族や集団から構成されている現在、先住民族であることや、かれらの政治・文化的な活動は、かれら自身や国内の社会全体にとって、どのような意味をもっているのでしょうか。どのようなインパクトを国家や地域社会に及ぼしているのでしょうか。

これまでの先住民族に関する学問的なシンポジウムでは、たいてい研究者が先住民族について語るという形式がとられてきました。しかしながら、今回のシンポジウムでは、先

住民族の文化や政治に関わる行政側の人間や、政治運動や文化運動に関わっている先住民自身に現状を報告し、それに対して研究者がコメントを加えるという、これまでとは異なったフォーラム型ないしは対話型のやり方で実施されます。関係者が情報や認識を共有し、話し合うことによって新たな知識が生み出されるのではないかという期待が背景にあります。

カナダのイヌイットの事例と日本のアイヌの事例を比較することによって共生的な多元的社会的生成に関して新たな知見が得られることを期待しております。

今回のシンポジウムは、日本では未開拓の分野である、社会と人類学の接点を模索する公共人類学(public anthropology)や実践人類学(anthropology in action)の試みのひとつであると考えております。

今回のシンポジウムのために、アラスカ、カナダの極北地域、モントリオールやオタワ、パークレー、北海道などの各地から、遠路はるばるお越しくださいました皆様にお礼を申し上げます。

このシンポジウムから大きな成果が生み出され、が成功することを期待しています。最後に、短期間ではございますが外国から来られた皆様には、どうか日本での滞在を十分にお楽しみくださるようお願いしております。

ご静聴、ありがとうございました。

.....

同時通訳用語集

「多元的社会における先住民運動：カナダのイヌイットと日本のアイヌ」:Indigenous Movements in Plural Societies: The Canadian Inuit and the Ainu of Japan

「社会と文化の多元性」: Socio-Cultural Plurality

「人類学的歴史認識」: History in Anthropological Perspectives

「文化人類学の社会的活用」: Cultural Anthropology in Social Practice

「新しい人類科学の創造」: Quest for New Human Sciences

先住民民族 an indigenous people or aboriginal people

知の再編: reconstruction of knowledge

共生的な多元的社会 convivial societies

公共人類学: public anthropology

実践人類学: anthropology in action

極北地域: arctic region